

4. 火災の実態

1. 火災の概要

平成16年中の火災は、出火件数2,935件、損害額6,049,009千円、死者数87人、建物焼損床面積60,193㎡、建物焼損表面積4,138㎡、林野焼損面積3,679a、焼損棟数1,933棟、り災世帯数1,339世帯、り災人員3,487人となった。

(火災の状況)

区 分	平成16年	平成15年	対前年増減数	増減率
	①	②	③ = ① - ②	$\frac{③}{②} \times 100$ (%)
出火件数	2,935	2,552	383	15.0
建物火災	1,436	1,352	84	6.2
林野火災	131	79	52	65.8
車両火災	302	348	△46	△13.2
船舶火災	4	1	3	300.0
航空機火災	0	0	0	0
その他火災	1,062	772	290	37.6
焼損棟数	1,933	1,825	108	5.9
り災世帯数	1,339	1,263	76	6.0
り災人員	3,487	3,324	163	4.9
焼損面積				
建物床面積 (㎡)	60,193	50,114	10,079	20.1
建物表面積 (㎡)	4,138	4,998	△860	△17.2
林野 (a)	3,679	531	3,148	592.8
損害額 (千円)	6,049,009	5,603,082	445,927	8.0
死者 (人)	87	96	△9	△9.4
負傷者 (人)	375	412	△37	△9.0

※ H7.1.1 から建物焼損面積について、建物焼損床面積、建物焼損表面積に区分した。

また、平成16年中の火災の発生を一日当たりで見ると、出火件数8.0件、損害額16,572千円、死者数0.24人、建物焼損床面積164.9㎡、建物焼損表面積11.3㎡、林野焼損面積10.1a、焼損棟数5.3棟、り災世帯数3.7世帯、り災人員9.6人である。

2. 出火件数

総出火件数は、2,935件で前年と比べて383件増加している。これを火災種別で見ると次のとおりである。

種別	建物	車両	林野	船舶	航空機	その他
16年 (2,935件)	1,436件 (48.9%)	302件 (10.3%)	131件 (4.5%)	4件 (0.1%)	0件 (0.0%)	1,062件 (36.2%)
15年 (2,552件)	1,352件 (53.0%)	348件 (13.6%)	79件 (3.1%)	1件 (0.0%)	0件 (0.0%)	772件 (30.3%)

- (注) ア 建物火災とは、建物又はその収容物が焼損した火災をいう。
 イ 林野火災とは、森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。
 ウ 車両火災とは、原動機によって運行することができる車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。
 エ 船舶火災とは、船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
 オ 航空機火災とは、航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。
 カ その他の火災とは、アからオまでに掲げる火災以外の火災をいう。

(1) 月別出火件数

出火件数を月別にみると、2月が391件と最も多く、7月318件、1月313件と続いている。

(2) 出火率

出火率（人口1万人当たりの出火件数）をみると県平均4.9件となっている。

3. 損害額

火災による損害額は6,049,009千円で前年比445,927千円（8.0%）増加した。また、県民1人当たりでみると1,008円（前年933円）、1日当たりでは16,572千円（前年15,351千円）、1件当たりでは2,061千円（前年2,196千円）となった。

4. 出火原因

出火件数を出火原因別にみると、次のとおりである。これは例年と同様の傾向である。

た き 火	放火・放火の疑い	た ば こ	こ ん ろ	火 遊 び	そ の 他
283件 (9.6%)	653件 (22.2%)	307件 (10.5%)	261件 (8.9%)	121件 (4.1%)	1,310件 (44.6%)

5. 死傷者の実態

(1) 死傷者数

火災による死者は87人、負傷者は375人で前年に比べて死者は9人（9.4%）、負傷者は37人（9.0%）の減となった。

(2) 火災種別にみる死傷者数

火災種別でみると建物火災が死者56人、負傷者315人でそれぞれ全体の64.4%、84.0%と大部分を占め、林野火災が死者0人、負傷者5人（0.0%、1.3%）、車両火災が死者8人、負傷者21人（9.2%、5.6%）その他の火災が死者23人、負傷者33人（26.4%、8.8%）となっている。

(3) 月別の死者数

死者を月別にみると2月が18人と最も多く、次いで1月が13人となっている。

(4) 年齢別の死者数

死者を年齢別にみると次のとおりであり、61歳以上が全体の4割以上を占めている。

区分	0歳～20歳	21歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	51歳～60歳	61歳～70歳	71歳以上	不明
件数	0	6	7	14	20	20	18	2
割合	0.0%	6.9%	8.0%	16.1%	23.0%	23.0%	20.7%	2.3%

(5) 死因

死者を死因別にみると自殺35人（40.3%）、一酸化炭素中毒・窒息21人（24.1%）、火傷によるもの20人（23.0%）、その他・不明11人（12.6%）となっている。

6. 火災種別ごとの出火件数及び損害額等

火災種別ごとの出火件数及び損害額は次のとおりである。

火災種別	件数	損害額千円	焼損面積	焼損棟数	り災世帯数	り災人員
建 物	1,436 (6.2%)	5,777,020 (10.3%)	床面積 60,193 m ² (20.1%) 表面積 4,138 m ² (△17.2%)	1,933 (5.9%)	1,339 (6.0%)	3,487 (4.9%)
林 野	131 (65.8%)	10,574 (513.0%)	3,679 a (592.8%)	—	—	—
車 両	302 (△13.2%)	137,088 (△50.6%)	—	—	—	—
船 舶	4 (300.0%)	428 (851.1%)	—	—	—	—
航空機	—	—	—	—	—	—
その他	1062 (37.6%)	103,201 (73.5%)	—	—	—	—
(爆発)	13	20,698 (△23.1%)	—	—	—	—

() 内は対前年比

- ※ H7.1.1 から火災の定義に爆発現象が加わった。爆発の件数は出火件数の内数。損害額は外数。
H7.1.1 から建物の焼損面積について、建物焼損床面積、建物焼損表面積に区分した。